

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 5月 8日

事業所名 放課後等デイサービス リーる 保護者等数(児童数) 29(32) 回収数 19 割合 65%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2		・リーるさんへ入室する際、自宅に帰ってきたかのように「ただいま～！」と元気よく挨拶しているそうです。第2の我が家のように思っています。	室内だけでなく、庭も活用しています。また、本社にあるプールや学習室、学童も利用しています。屋外でのウォーキング活動も取り入れています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2		・配置数などはわかりませんが、問題なくサポートしてくれている。 ・スタッフの方の専門性が分からない。 ・児童の性格の見極めながら適切な対応を下さっていると思います。	適切な人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	4		・事業所を見学に行く機会が少ないので分からない。 ・室内は簡素化して清潔に保たれています。	手すりに対応しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19			・本人の現況を踏まえて定説な計画が作成されていると思います。 ・毎年、相談しながら成長を見守ってくださっていてとても心強いです。	適切な計画を作成するよう努力しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19			・限られた職員の中で子どもの特性に合わせた活動がされている事に感謝しています。 ・皆が参加できるように楽しめるような内容になっていると思います。	支援内容の追加や変更があればご連絡お願い致します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	9		・学童との交流が出来る環境であるので良いと思います。 ・交流(障がいがない子との)が分からない。 ・不明 ・生活様式の変容もあり今後は様々な活動内容を期待したいと思います。	昨年度から感染症対策を取りながら、VI-VA学童さんやリズムさんと交流を深めています。 3月には寿デイサービスさんも一緒にプールでの記録会を開催しました。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2		・判らない事はその都度お電話や送迎時に丁寧に対応していただきました。	ご不明な事があれば、いつでもご連絡ください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19			・その都度、理解して頂いています。 ・血のつながる縦家族よりも子ども達の事を相談させていただいております。核家族化した環境に一筋の光を与えてくれた場所であり、私たち家族にとって無くなっては困ります。それぐらい大きな繋がり温かなご支援を受けております。	保護者様や学校と情報共有し、お子様が安心してのびのびと過ごせる環境を整えていきます。保護者様と一緒にお子様の成長を喜び共感したいと思います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	4		・ラインが有効活用されている。少しの事でも相談しやすい。 ・毎年、悩まされることが起こりますが助言、支援して頂き助かります。 ・コロナ禍で面談が出来ないので。 ・年に1度は面談などお願いしたいです。	相談員さん、保護者様とモニタリング等で情報を共有しています。面談も実施できるよう準備を整えていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	7	1	・運動会とっても楽しかったです。 ・コロナ感染増大に伴い今年度は難しかったと思います。 ・コロナ禍なので、父母会が難しいので。 ・不明 ・過去に保護者会へ参加させていただきました。今後は会の再開を希望します。 ・なかなか開催しづらい時期ですがあれば参加したいです。	2023年度も保護者会等の開催を予定しています。 親子で一緒に楽しめるような企画も考えていきたいと思っています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3		・いつも丁寧に対応して頂き、苦情などの場面がない。 ・苦情などはない。 ・どのような小さな出来事でもお伝えして下さっていて、私たち家族の生活ベースも理解してもらいとても助けられています。	迅速に誠意をもって対応できるように心がけます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19			・親子共々対応して頂いています。	HUG・LINE・電話での情報共有を継続していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	2		・毎月、カラー写真を含めた「りーるだより」は、いつでも見れる所に貼って家族で眺めています。それだけで、楽しいHappyな気持ちになります。 ・写真はいつも楽しみに見えています。”だより”と一緒に見えています。	りーる便りを通して、楽しい活動やお子様の笑顔を発信できるようにしていきます。 HUGで活動の様子を伝えられるようにしたいと思います。
	14	個人情報に十分注意しているか	19			・新たな試みHUG導入は画期的です。今後の情報流出の危険性は否めません。	十分に配慮しています。個人情報については鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	6		・緊急時対応マニュアル(A41枚程度)あれば欲しいです。緊急事態が起こってからでは慌ててしまいますので不安もあります。例：りーるから保護者へ連絡→迎えるor待機等の心構えは必要かと考えております。 ・説明はなかったと思います。	理解していただけるよう、丁寧に周知していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	6		・不明 ・訓練の様子を本人から聞いています。	年2回の訓練を行っています。継続して実施し、いざという時にお子様を守ることができるようになります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2		・楽しんで行っています。 ・学習支援、プール活動等と色々な活動に取り組み、夏休みのイベントなど毎年ワクワク楽しみにしています。 ・「外出とても楽しい！」と言っています。 ・休日でも「明日はりーる？」ととても楽しみにしています！！ ・楽しく通わせてもらっています。ありがとうございます。	これからも、お子様一人ひとりの思いに寄り添いながら“安心してすごせる場所”となるように取り組んでまいります。また、一人ひとりに合った個別の活動を取り入れるなど、活動内容をより充実させていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	19			・大変満足しています。アットホームな雰囲気がとても良いみたいです。 ・色々な経験や体験や適切な支援をして頂き感謝しています。ありがとうございます。 ・素晴らしい1位の事業所さんだと思います。大満足です。 ・皆さんが心温かなご支援を下さっています。日々有難く感じています。 ・本人も通所を楽しみにしています。	満足していただけるよう、職員一同お子様と一緒に楽しむことを大切にしながら支援していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 放課後等デイサービス リーる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	3	1	庭を活動スペースとして利用するよう にした。また、本社の学習室・プール・ 学童VI-VAなど敷地内の部屋を活用 している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	3		基準より多くの職員を配置し、細やか な支援を心がけている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	3	4		階段に手すりを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3	4		月2回のミーティングを中心に職員同 士が話し合う時間を確保し、業務を進 めている。	さらに、連絡を密にしていける必要があ る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	7			昨年度の評価を基に業務を改善し た。次年度も本アンケートを基に改善 していく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	2		自己評価の結果は、ホームページで 公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	2		第三者評価事業は活用していない。	連携できる外部パートナーを探した い。
適切な支 援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6	1		姉妹事業所や同一法人の他部署と研 修をしている。また外部の研修を受講 する時には、シフトの調整をするよう にしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		標準化されたアセスメントツールを活 用している。年1回、フェイスシートを 保護者に見直しをしてもらっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	4		標準化されたアセスメントツールを 使っている。	よりよいものはないかと検討してい る。
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7			子どもたちの話し合いの結果を取り入 れながら決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	1		利用時間や個別の発達に応じて、課 題を設定し、支援をしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	7			集団活動では、子どもたちが話し合 い、内容を決定している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	2	5		送迎や活動内容などの確認と役割を 分担し、効率よく業務をすすめられる ようにしている。	レクの打ち合わせや準備をもっと細か くやりたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	1		日報として書き残すことで、いつでも 確認できるようにしている。 ふりかえりに参加できない場合は、翌 日話を聞いている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			日報・ヒヤリハットを記入している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5	2		相談員さんと連絡を取り合い、行っ ている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	2	5		子どもたちが選択・決定できるように 複数の活動を準備している。	さらに充実させていきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	2		学校のホームページやLINE等で保護 者とやり取りできている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	7			連絡体制を取れている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7			姉妹事業所の児童発達支援(ミニリズム) から情報提供を受けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	7			相談員さんを通して伝えたり、事業所 の担当の方と話したりして伝えてい る。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	5		児童発達支援センターのホームペー ジを中心に情報を集め、必要に応じて 職員で共有をしている。	現地での研修に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	7			VI-VA学童と交流している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	6	1		「南風原町障害者週間実行委員会」 主催のイベントに参加した。	地域自立支援協議会は開催されるよ うであれば関わっていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7			活動の様子を連絡ノートや電話、LINE などで日常的に伝え合い、共通理解 をしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	5		感染予防の観点から、ペアレント・ト レーニング等をやる会を開催すること が困難だった。	2023年度は実施したい。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	1		契約時に書面を読み上げながら、説 明を行っている。また、必要に応じて 適宜行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	7			連絡ノートや電話を活用し支援をして いる。希望する保護者とは、面談の機 会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	2		今年度は1度だけ開催をした。	もっと多くの保護者が参加できるよ うに工夫したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7			子どもや保護者から訴えがあった場 合には、事実をすぐに確認し、迅速か つ適切に対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7			りーる便りを毎月発行している。写真 でも様子を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	7			書類は、鍵の閉まる書庫に保管して いる。写真などの公開については、保 護者の同意を得ている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7			紙・電話・LINEと様々な手段を使っ て意思の疎通や情報伝達を図ってい る。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		新型コロナウイルス感染拡大防止の ため、実施をしなかった。	2023年度は、地域住民を招待する イベントを実施したい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		マニュアルを策定し、職員で共有している。保護者へ周知できるように説明するようにする。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			避難訓練を定期的実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止委員会を設置している。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			やむを得ない場合は、法人で定めた「身体的拘束等適正化のための指針」に則って行うこととしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			おやつ時に食物アレルギーを確認しながら提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			記録を残している。それを基に事例集を作成し、共有している。	